

平成30年度

「教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価」報告書

(平成29年度対象)

朝倉市教育委員会

## 1 はじめに

朝倉市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、平成29年度の朝倉市教育委員会の活動や教育施策について行いました。

点検及び評価に当たりましては、平成29年度の朝倉市教育施策要綱により行い、この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより市民の教育行政に対するご理解とご支援をお願いするものです。

## 2 教育委員会の概要

### (1) 教育委員会制度の仕組み

ア 教育委員会は、首長から独立した行政委員会と位置づけられ、地域の学校教育、社会教育・生涯学習、文化、スポーツ等に関する事務を執行する教育委員による合議制の執行機関として、すべての都道府県及び市町村に設置され、教育行政における重要事項や基本方針を決定しています。

イ 教育委員会を組織する教育委員は、首長が議会の同意を得て任命し、任期は4年で再任ができることとされています。

ウ 教育長は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成26年6月20日に公布され、平成27年4月1日より施行されたことに伴い、首長が議会の同意を得て任命し、特別職となり、任期は3年とされています。教育長は委員会の会議を総理し、委員会を代表します。

（平成27年施行の法改正では、教育委員会を引き続き執行機関としつつ、その代表者である委員長と事務の統括者である教育長を一本化した新「教育長」を置くことにより、迅速な危機管理体制の構築を図ることを含め教育行政の第一義的な責任者を明確化することとされました。）

エ 職務代理者は、教育委員のうちから教育長が指名し、教育長に事故があるとき又は欠けたとき、その職務を行います。

(2) 朝倉市教育委員会

平成30年3月31日現在

委員の区分	氏名	保護者	出身地域
教育長	宮崎成光		—
委員（職務代理者）	小川孝文		朝倉
委員	井手千章		杷木
委員	内藤主税		甘木
委員	鹿毛美和	○	

○：保護者該当（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第5項）

3 点検・評価の対象並びに基準

(1) 点検・評価の対象

教育委員会の事業内容について、事業部門別（Ⅰ～Ⅲ）の基本目標に係る主要課題の区分により、自己点検・評価表を作成しました。

Ⅰ 学校教育

〈1〉確かな学力

- ① 知識・技能や学び方を身に付け、主体的、対話的で深い学びができる資質・能力の育成
- ② 個性の伸長を図り、自立して未来を切り拓いていくことができる資質・能力の育成
- ③ 自ら課題を見つけ問題の解決を目指しながら、グローバル社会を生き抜く資質・能力の育成

〈2〉豊かな心

- ① 自他の良さを認め合い、互いによりよい生き方を切り拓こうとする心の教育の推進
- ② 人間関係調整力と強かに生き抜く力を育成する生徒指導の充実
- ③ 郷土に愛着と誇りを持ち、その良さを自慢できる児童生徒を育む教育活動の創造

### 〈3〉 健やかな体

- ① 体力・運動能力の向上をねらった、体育科、保健・体育科における効果的な授業の工夫
- ② 運動部活動の奨励と日常的な運動の推進
- ③ 健康教育の強化を図った安全教育、保健教育の充実と食育の推進

### 〈4〉 信頼される学校

- ① コミュニティ・スクールの制度を生かした効果的な学校づくりの推進
- ② 積極的な情報発信による保護者・地域が自慢できる学校づくりの推進
- ③ 教職員のサービスの厳正を図った取組と、学校情報の積極的な公開の徹底

### 〈5〉 教育環境の充実

- ① 教職員の実践的指導力の向上と児童生徒の学習習慣の定着の推進
- ② 小・中一貫教育を推進する中学校区組織機能の充実
- ③ よりよい学びを生む教育環境の整備・充実と小・中学校の在り方検討の推進

## II 生涯学習・生涯スポーツ振興

### 〈1〉 生涯学習の推進

- ① 生涯学習推進体制の整備・充実
- ② 生涯学習支援機能の充実

### 〈2〉 スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ① スポーツ施設など活動環境の充実
- ② 健康増進・市民相互交流の促進
- ③ 活動組織・団体の育成

### 〈3〉 図書館サービスの充実

- ① 図書館の管理運営
- ② 図書資料の整備
- ③ 読書環境の整備

〈4〉読書活動の推進

- ① 読書推進事業の充実
- ② ブックスタート事業の整備・推進

Ⅲ 文化振興

〈1〉地域文化の振興

- ① 指定文化財の整備活用及び埋蔵文化財調査
- ② 文化財の活用及び施設の管理運営

〈2〉文化芸術活動の推進

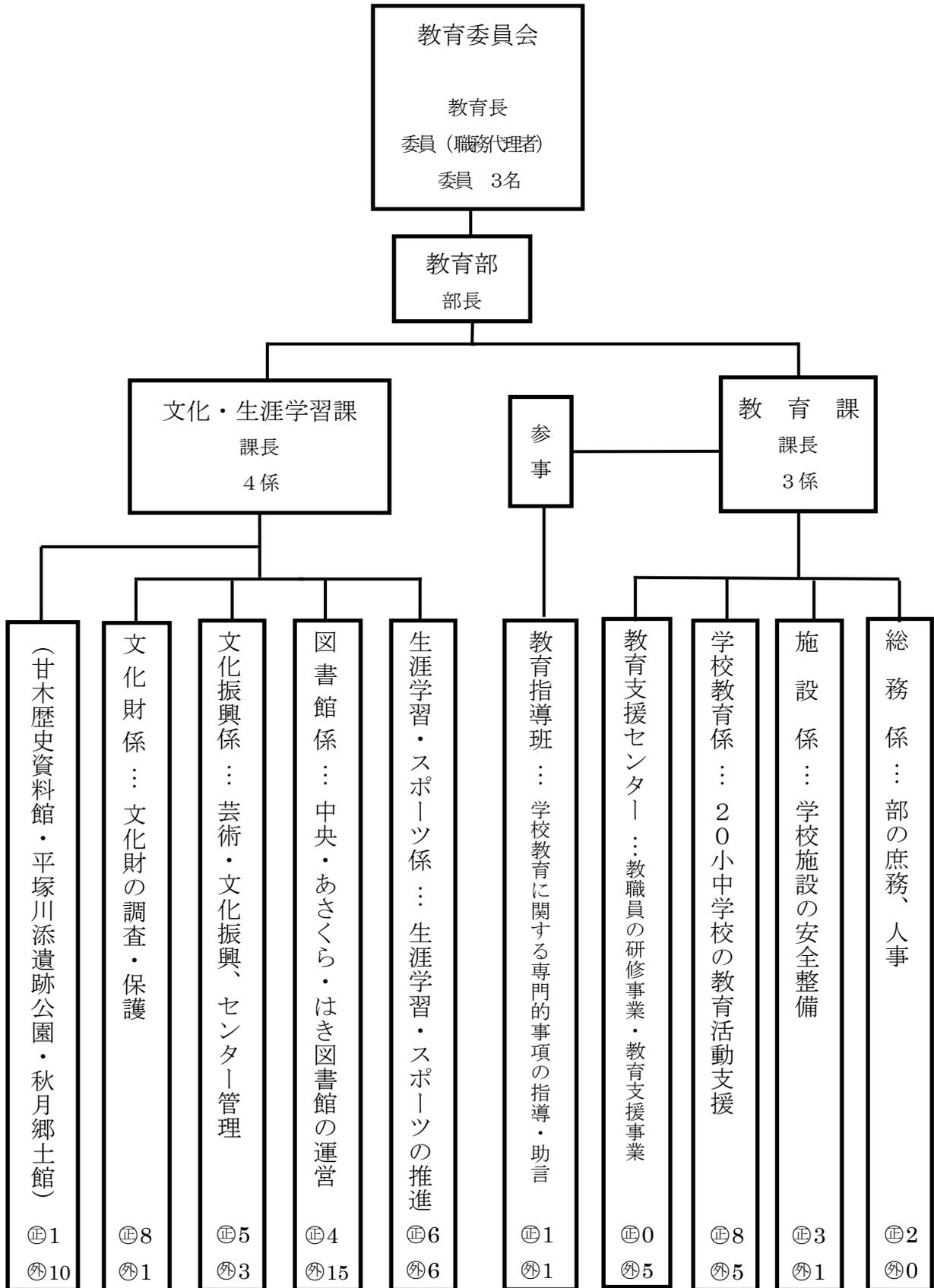
- ① 文化振興推進事業
- ② 総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センターの維持管理運営

(2) 点検・評価の基準

点検・評価の項目ごとに達成状況を5段階で評価し、表示しました。

- 5 . . . 十分に達成されている。
- 4 . . . 達成されている。
- 3 . . . ほぼ達成されている。
- 2 . . . あまり達成されていない。
- 1 . . . 達成されていない。

(3) 朝倉市教育委員会事務局



※ ㊦は正規職員数、㊧は正規以外職員数（単位：人） 平成29年4月1日現在

※ 教育指導班について、主幹参事・参事体制の導入に向けて平成29年度に検討を行う。

4 教育に関し学識経験を有する者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、1名の方から意見を徴し評価に反映しました。

氏 名	所 属 等
教授 小 泉 令 三	福岡教育大学 教職大学院

5 朝倉市教育委員会の活動状況

(1) 平成29年度 教育委員会開催状況

ア 付議事件

開 催 回 数	開催日	定例 臨時	付議案件 番 号	付議事件
平成29年 第6回	4月25日	定例	第23号	朝倉市教育支援センター運営委員会委員の委嘱について
			第24号	朝倉市立杷木学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
第7回	5月24日	定例	第25号	朝倉市秋月郷土館条例施行規則を廃止する規則の制定について
			第26号	朝倉市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について
			第27号	朝倉市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
			第28号	朝倉市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の制定について
			第29号	朝倉市社会教育委員の委嘱について
			第30号	甘木歴史資料館協議会委員の委嘱について

開催回数	開催日	定例臨時	付議案件番号	付議事件
第8回	6月30日	定例	—	—
第9回	7月19日	定例	第31号	財産の取得について
第10回	8月22日	定例	第32号	平成30年度使用小学校教科用図書の採択について
第11回	9月22日	定例	第33号	平成28年度朝倉市教育委員会歳入歳出決算について
			第34号	朝倉市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
			第35号	朝倉市秋月博物館条例施行規則の制定について
			第36号	平成29年7月九州北部豪雨災害に係る朝倉市児童生徒就学援助規則の制定について
第12回	10月25日	定例	第37号	平成29年度朝倉市教育委員会補正予算について
			第38号	平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
第13回	11月22日	定例	—	—
第14回	12月22日	定例	第39号	朝倉市児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則の制定について
			第40号	朝倉市立小中学校の区域外就学及び校区外就学の許可基準に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
			第41号	平成29年7月九州北部豪雨災害による朝倉市立小中学校の区域外就学及び校区外就学の特例許可基準に関する要綱の制定について
			第42号	平成29年度朝倉市教育委員会補正予算について

開催回数	開催日	定例臨時	付議案件番号	付議事件
平成30年第1回	1月23日	定例	—	—
第2回	2月15日	定例	第1号	朝倉市立杷木学校給食センター条例を廃止する条例案に対する意見について
			第2号	朝倉市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する等の規則の制定について
			第3号	朝倉市立小中学校の通学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定について
			第4号	朝倉市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する等の規程の制定について
			第5号	朝倉市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について
第3回	3月6日	臨時	—	—
第4回	3月22日	定例	第6号	平成29年度朝倉市教育委員会補正予算について
			第7号	平成30年度朝倉市教育委員会当初予算について
			第8号	朝倉市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
			第9号	朝倉市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
			第10号	朝倉市立学校教職員ストレスチェック制度実施要綱の制定について
			第11号	平成30年度朝倉市教育施策要綱の制定について

開催回数	開催日	定例臨時	付議案件番号	付議事件
第5回	3月23日	臨時	第12号	朝倉市立小・中学校長の任免内申について
			第13号	朝倉市教育委員会管理職の任免について

(2) 教育委員会の取り組み及び活動

① 教育委員の学習会について（定例教育委員会開会前に1時間開催）				
回数	年	開催月日	点検・評価	改善等
12	平成29年	4/25、5/24、 6/30、7/19、 8/22、9/22、 10/25、11/22、 12/22	○学習会は、教育委員としての資質向上を目指し、自己研鑽に努めるとともに、教育行政全般に関わる諸問題について、事務局担当者を交えながら、全員の意思統一と問題認識の共有のために開催しました。  ○全ての学習会は、教育長室で開催しました。	○外部の学識経験者等を招いた学習会などを開催し、学習会の充実を目指します。
	平成30年	1/23、2/15、 3/22		

② 教育委員の研修会及び事業等への出席・参加の実績		
月	日	研 修 会 及 び 事 業 等
H29 4	3	新規採用教職員宣誓式、新規採用教職員・転入者引渡式 蜷城学童保育入所式：内藤委員
	10	朝倉市立小学校入学式
	11	朝倉市立中学校入学式
	21	福岡県市町村教育委員会連絡協議会（県庁講堂） 松末小運営委員会歓送迎会：井手委員
	25	定例教育委員会、学習会
	5	10
23		学校訪問（蜷城小）
24		定例教育委員会、学習会
25		朝倉市中学校教育研究会全体研修会（秋月中）
28		朝倉市立小学校運動会 （馬田、松末、杷木、久喜宮、志波、朝倉東、大福）
29		学校訪問（福田小）
31		学校訪問（南陵中）、学校訪問（甘木中） 朝倉市人権・同和教育推進協議会総会
6	1	朝倉市立小中学校校長・教頭歓送迎会 杷木人権啓発センター運営委員会：井手委員
	22	北筑後地区市町村教育委員会連絡協議会総会及び研修会

月	日	研 修 会 及 び 事 業 等
6	27	学校訪問（大福小）
	28	学校訪問（立石小）
	29	学校訪問（比良松中）
	30	学校訪問（三奈木小）、学校訪問（十文字中） 定例教育委員会、学習会
7	3	同和問題啓発強調月間街頭啓発
	5	学校訪問（金川小）
	8	臨時教育委員会（豪雨災害対策）
	11	学校訪問（秋月中）
	13	臨時教育委員会（豪雨災害対策）
	19	定例教育委員会、学習会 第1回朝倉市総合教育会議
8	18	福岡県市町村女性教育委員研修会：鹿毛委員
	22	定例教育委員会、学習会
9	8	ミニ運動会（南陵中学校）
	20	比良松フェスティバル（比良松中学校）
	22	定例教育委員会、学習会
	24	朝倉市立小学校運動会（三奈木、金川、福田）
	26	学校訪問（朝倉東小）
	28	学校訪問（杷木中）

月	日	研 修 会 及 び 事 業 等
9	29	秋季オリンピック（秋月中学校）
		学校訪問（松末小）
10	1	朝倉市立小学校運動会（立石、甘木）
	5	学校訪問（甘木小）
	11	人権作品コンクール審査会：鹿毛委員
	12	杷木地域PTA連絡協議会：井手委員
	14	朝倉市立小学校運動会（秋月）
	15	朝倉市立小学校運動会（蜷城）
	21	朝倉市秋月博物館開館式
	24	北筑後管内市町村教育委員会連絡協議会総会及び研修会
	25	定例教育委員会、学習会
	26	学校訪問（秋月小）
		朝倉市中学校英語スピーチコンテスト（十文字中）
31	学校訪問（馬田小）	
11	2	小学校教育研究会総合研究発表会（立石小）
	10	福岡県市町村教育委員会教育委員研修会
	15	朝倉市いじめ問題対策連絡協議会
	22	定例教育委員会、学習会
12	16	第12回朝倉市連合音楽会
	22	定例教育委員会、学習会

月	日	研 修 会 及 び 事 業 等
H30 1	7	第12回朝倉市成人式
	23	定例教育委員会、学習会
	28	文化財防火デー防火訓練
2	6	朝倉市小中学校運営研修会
	7	福岡県人権教育研修会：小川委員
	8	朝倉市教育支援センター委託研究発表会
	15	定例教育委員会、学習会
		第2回朝倉市総合教育会議
27	福岡県市町村女性教育委員研修会役員選定会議：鹿毛委員	
3	6	臨時教育委員会
	10	朝倉市立中学校卒業証書授与式
	16	朝倉市立小学校卒業証書授与式
	19	人権同和教育推進協議会社会教育部会総会：小川委員・内藤委員
	22	定例教育委員会、学習会
	23	臨時教育委員会
	24	小学校閉校式（杷木小、松末小）
	25	小学校閉校式（久喜宮小、志波小）
26	新設杷木小学校内覧会	

③ 小中学校への学校訪問について			
月日	学校名	訪問形態	点検・評価
5/23	蛭城小学校	教育事務所	○小・中学校への訪問については、教育委員及び教育委員会事務局職員による訪問（市単独）と福岡県教育庁北筑後教育事務所に要請し、教育委員と事務局職員が案内して訪問する2つの形態で行い、適切に指導及び助言をおこないました。  ○校長・教頭・主幹教諭等から経営課題及び教育課題を解決するための、学校経営方針、校務運営方針、教務運営方針、そして校内研究推進計画などの説明を受けるとともに、児童・生徒や教職員に係る関係帳簿及び会計帳簿等の点検を行い、学校経営や帳簿等の事務処理に関する指導・助言をおこないました。  ○各学校においては、施設全体の状態をチェックしました。  ○全教室の授業参観を行うとともに、教室内の掲示物の貼付状況・内容の確認を行い、指導・助言をおこないました。  ○全教職員と教育委員等訪問者の紹介を相互に行い、教育委員会代表が各学校の経営について意見、感想を述べました。又日頃思っている教育関係の事象についてミニ講話を行いました。
5/29	福田小学校	市教委単独	
5/31	南陵中学校	市教委単独	
5/31	甘木中学校	市教委単独	
6/27	大福小学校	市教委単独	
6/28	立石小学校	教育事務所	
6/29	比良松中学校	教育事務所	
6/30	十文字中学校	市教委単独	
6/30	三奈木小学校	市教委単独	
7/5	金川小学校	市教委単独	
(7/6)	(志波小学校)	(市教委単独)	
(7/6)	(久喜宮小学校)	(九州北部豪雨災害により中止)	
(7/7)	(杷木小学校)		
7/11	秋月中学校	市教委単独	
9/26	朝倉東小学校	市教委単独	
9/28	杷木中学校	教育事務所	
9/29	松末小学校	教育事務所	
10/5	甘木小学校	教育事務所	
10/26	秋月小学校	教育事務所	
10/31	馬田小学校	教育事務所	

# I 学校教育の施策

## 学校教育目標 主要課題と評価指標(～平成30年度)

高い志をもって意欲的に学び、郷土を愛しグローバル社会を強かに生き抜く力を育む魅力ある学校づくり	<b>確かな学力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 知識・技能や学び方を身に付け、主体的、対話的で深い学びができる資質・能力の育成</li> <li>(2) 個性の伸長を図り、自立して未来を切り拓いていくことができる資質・能力の育成</li> <li>(3) 自ら課題を見つけ問題の解決を目指しながら、グローバル社会を生き抜く資質・能力の育成</li> </ul>
	指 標	全国学力調査における正答率が全国・県・北筑後の平均以上 高い志を持ち、夢や目標を持って意欲的に学ぶ児童生徒が80%以上
	<b>豊かな心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自他の良さを認め合い、互いによりよい生き方を切り拓こうとする心の教育の推進</li> <li>(2) 人間関係調整力と強かに生き抜く力を育成する生徒指導の充実</li> <li>(3) 郷土に愛着と誇りを持ち、その良さを自慢できる児童生徒を育む教育活動の創造</li> </ul>
	指 標	自尊感情を持てている児童生徒が75%以上、規範意識を持てている児童生徒が90%以上 不登校発生比率が全国、県、北筑後の平均以下、対人暴力等の無発生日数継続
	<b>健やかな体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 体力・運動能力の向上をねらった、体育科、保健・体育科における効果的な授業の工夫</li> <li>(2) 運動部活動の奨励と日常的な運動の推進</li> <li>(3) 健康教育の強化を図った安全教育、保健教育の充実と食育の推進</li> </ul>
指 標	全国体力・運動能力テストの体力合計点が全国・県・北筑後の平均以上 児童生徒の朝食摂取率が95%以上	
<b>信頼される学校</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) コミュニティ・スクールの制度を生かした効果的な学校づくりの推進</li> <li>(2) 積極的な情報発信による保護者・地域が自慢できる学校づくりの推進</li> <li>(3) 教職員のサービスの厳正を図った取組と、学校情報の積極的な公開の徹底</li> </ul>	
指 標	児童生徒の地域行事等への参加率60%以上 飲酒運転、セクハラ、体罰の発生率0%	
<b>教育環境の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教職員の実践的指導力の向上と児童生徒の学習習慣の定着の推進</li> <li>(2) 小・中一貫教育を推進する中学校区組織機能の充実</li> <li>(3) よりよい学びを生む教育環境の整備・充実と小・中学校の在り方検討の推進</li> </ul>	
指 標	中学校区連携事業への教職員の参加100% 月初めの安全点検の日の設定と点検、学期1回の通学路・集団登校点検、破損施設の即修理	
<b>朝倉市教育支援センター</b>		
<b>教育支援</b>	調査研究事業	・委託研究事業 ・教育情報の収集・整理 等
	研修事業	・資質向上を図る基礎研修事業 ・職能育成を図る教職研修事業 ・専門性を高める専門研修事業
	教育支援事業	・適応指導教室事業 ・教育相談事業 ・不登校復帰支援事業

平成30年度の施策の重点と点検項目

重点目標	主な事業	点検項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ねらいを達成するための効果的な手だての実施</li> <li>○活用問題に対応した知識・技能の定着を図る習熟度別、繰り返し指導の推進</li> <li>○外国語教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進事業(各中学校区)</li> <li>・学力調査実施事業</li> <li>・ALT、JTEの派遣事業(英語スピーチコンテスト事業)</li> <li>・生きる力育成推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねらい、手だて、めあて、まとめに一貫性のある授業の実施</li> <li>学力低位層に対する補充教材の作成及び選定</li> <li>外国語活動・外国語科(小)・外国語科(中)の系統的指導計画の作成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダー・フォロアー関係の育成に基づく自治的活動の充実</li> <li>○いじめ、不登校を生まない取組の充実</li> <li>○郷土愛を育む教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳性検査実施事業</li> <li>・生きる力育成推進事業</li> <li>・生徒指導活性化推進事業</li> <li>・いじめ問題対策事業</li> <li>・不登校対策支援会議</li> <li>・人権・同和教育研修会事業</li> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の問題を解決しよりよい学校生活を目指した児童・生徒による自治的話合いの実施</li> <li>教育相談コーディネーターを中心とした組織の機能化といじめ不登校問題への対応</li> <li>ふるさと教育の充実(活動内容を広げたり、深めたりする取組)と発信</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動能力を向上させる取組の充実</li> <li>○日常的な外遊びや継続的な運動活動の推進</li> <li>○歯と口の健康の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の派遣事業</li> <li>・チャレンジ記録の認定事業</li> <li>・小学校泳力記録会事業</li> <li>・クラブ、部活動支援事業</li> <li>・歯と口の健康推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボール投げ(小)、50m走(中)のスコア向上をねらった環境づくりと授業でのショート・トレーニングの実施</li> <li>(小)一日一回外遊びの奨励</li> <li>(中)体育部と連携した文化部等における運動の奨励</li> <li>食後のぶくぶくうがい、はみがきの実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者との連携の強化</li> <li>○学校の教育情報の積極的な公開</li> <li>○生徒理解に立った効果的な指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページへの学校情報の掲載</li> <li>・関係機関等との協力体制の強化</li> <li>・定例校長会の開催</li> <li>・不祥事防止対策事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事の周知と積極的な参加</li> <li>おらが学校委員会における学力・体力・徳力に関する調査結果の情報提供</li> <li>積極的生徒指導による生活、部活動指導に関する研修会の実施・参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習習慣の定着を推進する家庭啓発の工夫</li> <li>○小・中学校の連携強化</li> <li>○安心、安全且つ存在感があり、子どもの学びがわかる教育環境の充実・整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進事業(各中学校区)</li> <li>・各種研究会等への支援</li> <li>・特色ある学校づくり研究指定事業</li> <li>・義務教育学校建設事業</li> <li>・学校施設の整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の中身や学習状況調査の結果が分かる通信の発行</li> <li>中学校区内における系統的な学力向上プランの作成と実施</li> <li>ねらい・学習内容に沿った評価及びコメントのある作品掲示</li> </ul>

平成30年度の主な事業

<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託研究の内容 個人:知力・徳力・体力の向上等</li> <li>グループ:小・中連携による学力向上、小・中連携による不登校対応と予防</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎研修:若年教師育成のための研修の実施</li> <li>○教職研修:組織マネジメント、人権・同和教育等の研修会の実施</li> <li>○専門研修:特別支援教育、保護者対応等の研修会の実施</li> <li>○教育講演会の開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校児童生徒等の適応指導教室(ステップ)の開設、不登校児童生徒等の状況調査と対応</li> <li>○学校・教育委員会と連携した教育相談(いじめ、不登校、問題行動、特別支援教育等)</li> </ul>

## II 生涯学習・生涯スポーツ振興の施策

生涯学習目標

主要課題と具体的方策

誰もが学びたいことを学びたい時に学ぶことができる生涯学習社会の構築	生涯学習の推進	(1)生涯学習推進体制の整備・充実 ①生涯学習推進基本計画の策定準備 ②地域・学校・関連団体との連携 ③生涯学習推進のための協議組織の拡充 ④コミュニティセンター等を拠点とした社会教育事業の推進  (2)生涯学習支援機能の充実 ①学習機会の拡充 ②学習活動の支援 ③学習情報の提供
	スポーツ・レクリエーション活動の推進	(1)スポーツ施設など活動環境の充実 ①社会体育施設の整備充実 ②指定管理者制度の活用による施設の有効利用促進  (2)健康増進、市民相互交流の促進 ①ニュースポーツ普及・スポーツイベント開催促進  (3)活動組織・団体の育成 ①総合型地域スポーツクラブ等の活動組織や体育協会等の団体の育成
	図書館サービスの充実	(1)図書館の管理運営 ①図書館の利便性向上と危機管理への取り組み ②図書館システムの整備・活用 ③レファレンスやリクエストサービスの充実  (2)図書資料の整備 ①図書館資料の収集・蔵書管理・利用促進 ②貴重資料、地域資料の収集と保存整備 ③地域の課題や多様な利用者に対応した資料の収集・整備 ④図書館間ネットワークの整備  (3)読書環境の整備 ①移動図書館事業の推進 ②巡回文庫事業の推進
	読書活動の推進	(1)読書推進事業の充実 ①各種講座等図書館事業の充実 ②関係機関・団体との連携と活動の支援 ③「朝倉市子どもの読書活動推進計画(改訂版)」の推進  (2)ブックスタート事業の整備・推進 ①ブックスタートボランティアの育成 ②ブックスタート事業の推進

平成30年度の施策の重点と点検項目

重点目標

主な事業

点検項目

○ それぞれの地域における個性豊かな生涯学習社会の構築のため、関係機関との連携強化を図り、市民の自主的活動を支援する。	社会教育関係指導者活用事業	1人あたり年間活動日数
	学社連携・融合推進事業	補助申請中学校区割合
	社会教育委員活動支援事業	会議開催回数 研修が役にたったと思う参加者割合
	お茶の間学習ネットワーク事業	お茶の間学習ネットワーク事業学習者数 お茶の間学習講座学級数
	生涯学習推進事業	講座開催回数

○ 体育施設の適切な維持・有効活用を図る。	体育施設管理運営事業	利用申請受付件数 施設の稼働率
	ふれあい市民の広場管理運営事業	利用申請受付件数 施設の稼働率
	武道館管理運営事業	利用申請受付件数 施設の稼働率
○ ニュースポーツ普及・スポーツイベント開催促進を図る。	B&G海洋センター管理運営事業	B&G海洋センター年間利用者数
	スポーツ推進委員支援事業	地域での活動回数
○ 子どもたちの潜在能力を掘り出し、スポーツ競技のレベルアップを図る。	市民スポーツ大会開催事業	市民スポーツ大会の開催回数 市民スポーツ大会の参加者人数
	体育協会支援事業	体育協会主催の大会数 体育協会主催等の各種スポーツ大会への参加者数
	スポーツ少年団支援事業	日本スポーツ少年団登録数 スポーツ少年団指導者数
	各種大会出場補助事業	本補助による各種大会参加者数

○ 年末年始と特別整理期間を除いて、中央館・あさくら館・はき館のいずれかの図書館を開館するとともに、祝日に開館して、利用者の利便性向上を図る。	図書館管理運営事業	一日平均利用者数 年間レファレンス数
	図書館資料整備事業	年間資料購入数 年間貸出冊数
	移動図書館事業	年間巡回箇所数 年間貸出冊数
	巡回文庫事業	年間巡回箇所数 年間貸出冊数
○ 各種講座・おはなし会等の年間参加者数の増加に努める。	図書館読書推進事業	各種講座・おはなし会等年間参加者数
	ブックスタート事業	ブックスタート年間参加率
○ 「朝倉市子どもの読書活動推進計画(改訂版)」に基づき、「朝倉市子ども読書の日(毎月23日)」及び「家族ふれあい読書」の普及・啓発に努める。		
○ ブックスタート・ブックスタートフォローアップへの全員参加を目指す。		

Ⅲ文化振興の施策

文化振興目標

主要課題と具体的方策

個性豊かな市民文化の保存と継承、更なる創造を目指して文化の薫り高い地域づくりを推進する	地域文化の振興	<p>(1)指定文化財の整備活用及び埋蔵文化財調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①指定文化財等保存管理</li> <li>②歴史・文化普及啓発</li> <li>③埋蔵文化財調査</li> <li>④秋月地区の歴史的風致保存</li> </ul> <p>(2)文化財の活用及び施設の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①朝倉市平塚川添遺跡公園管理活用</li> <li>②甘木歴史資料館管理活用</li> <li>③朝倉市秋月博物館建設</li> <li>④朝倉市秋月博物館管理活用</li> </ul>
	文化芸術活動の推進	<p>(1)文化振興推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①美術展・文化趣味講座・文化講演会・コンサート等開催事業</li> <li>②活動組織、団体の育成</li> <li>③子どもの文化、芸術活動の促進</li> <li>④文化ホール等の有効活用</li> <li>⑤姉妹都市高鍋文化交流</li> </ul> <p>(2)総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センターの維持管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センター施設の維持管理</li> <li>②総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センター施設の維持補修</li> </ul>

平成30年度の施策の重点と点検項目

重点目標	主な事業	点検項目
<p>○指定文化財等の保存・整備・活用を行うとともに、普及啓発活動を実施し、市民の文化財への意識高揚を図る。また、埋蔵文化財保護のため、予備調査を実施し必要に応じ発掘調査を行う。</p> <p>○文化財施設の保全及びその収蔵展示資料の保管・公開・活用に努め、教育や学習の場として活用する。また、「秋月博物館」の建設整備を実施する。</p>	指定文化財等保存管理事業	指定文化財数
	歴史・文化普及啓発事業	啓発イベント参加人数
	埋蔵文化財調査事業	予備調査完了面積
	朝倉市平塚川添遺跡公園管理活用事業	施設不具合件数、公園利用者数、活用事業参加者数
	甘木歴史資料館管理活用事業	来館者数、施設不具合件数
	朝倉市秋月博物館建設事業	事業進捗率
	朝倉市秋月博物館管理活用事業	入館者数

<p>○市民が優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、自ら文化芸術活動に参加できるよう、展示や活動発表の機会の充実と支援を行う。</p> <p>○文化組織や文化団体等の活動支援を行い、文化に係る団体及び後継者の育成を図る。また、子どもの文化芸術体験活動を推進する。</p> <p>○市民の文化活動を推進するため、安全・安心して使用できる文化施設の維持管理を行う。</p>	美術展事業	美術展出品者数、美術展来場者数
	文化趣味講座開催事業	参加人数、平均満足度
	文化講演会・コンサート等開催事業	参加人数、平均定員充足率
	文化団体連合会補助事業	事業参加者数、実施事業数
	甘木盆唄保存育成補助事業	公演参加者数(出演者)、公演入場者数
	国際子ども芸術フェスティバル補助事業	入場券販売枚数、入場者数
	自主文化事業協会補助事業	入場券販売率、平均定員充足率
	姉妹都市高鍋文化交流事業	交流事業参加者数、美術交流参加者数
	総合市民センター管理運営事業	施設の利用者数、不具合件数
	朝倉地域生涯学習センター管理運営事業	施設の利用者数、不具合件数
	杷木地域生涯学習センター管理運営事業	施設の利用者数、不具合件数
	市民センター施設補修事業	修繕工事件数

(平成29年度 対象)

## 自己点検・評価表

※評価点 ( ) は平成28年度評価点

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
I 学校 教育	<1> 確 かな 学 力 の 育 成	①知識・技能や 学び方を身に 付け、主体 的、対話的で 深い学びがで きる資質・能 力の育成	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査の調査結果を分析し、校長研修会、教頭研修会、及び教務担当者研修会の場で成果と課題について共有化を図り、課題解決のための各中学校ブロックの取組が具現化できるよう努めることができました。(学力実態調査結果に基づいた学校経営方針や学力向上プランの策定：100%)</li> <li>○全国学力実態調査における正答率が、小学校では国語A、算数Aが全国、県、北筑後を上まわりました。中学校では、国語B、数学A、数学Bが県、北筑後を上まわりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力調査や市独自の学力実態調査等の結果を受けて、課題の共有化、改善の方向性について全教職員への周知を図ります。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの授業づくりを実施していくために、ねらい、手だて、めあて、まとめに一貫性のある授業づくりを推進します。</li> <li>○活用問題に対応した知識・技能の定着を図る習熟度別、繰り返し学習を推進します。</li> </ul>
		②個性の伸長を 図り、自立し て未来を切り 拓いていくこ とができる資 質・能力の育 成	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育支援員の勤務時間を学校間で調整するなどしてそれぞれのニーズに応じた柔軟な配置を工夫しました。(平成27年度：28名、平成28年度：28名、平成29年度：28名)</li> <li>○通級指導教室では、児童生徒に対する教育相談の役割や、教職員に対する研修等の機会を提供する役割などが定着しました。市内の3教室の入級希望者数(体験入級含む)は定数を超える希望者数でしたが、担当教諭の高い指導力により、個のニーズに応じた指導を充実させることができました。(平成27年度：32名、平成28年度：30名、平成29年度：27名)・相談件数…平成27年度：340件、平成28年度：423件、平成29年度：487件) 研修会…年間3回</li> <li>○キャリア教育に関する計画が市内全ての小中学校で作成され実施されました。(推進計画作成20/20校)</li> <li>○高い志をもち、夢や希望を持って意欲的に学ぶ児童生徒が小学校：86.6%、中学校：69.5%と中学校において課題が残りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育に関しては、専門的指導スキルを有する指導者が代替わりする時期になってきているので、様々な研修を通して人材育成にさらに努めます。</li> <li>○通級指導教室へのニーズが増加する傾向にある中で、教育相談や個の特性・ニーズに応じた指導を行えるよう、教室の機能の充実と教室数及び教室規模の拡充を検討していきます。</li> <li>○高い志をもち、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ児童生徒を育てるキャリア教育を推進していきます。</li> </ul>

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策																																																											
			評価点																																																													
I 学校 教育	〈1〉 確かな学力の育成	③自ら課題を見つけ問題の解決を目指しながら、グローバル社会を生き抜く資質・能力の育成	4 (4)	<p>○朝倉市中学校教育研究会で取り組んでいる、英語スピーチコンテストに小学生が参加するなど英語教育の充実に努めました。</p> <p>○ALT等派遣事業、英語に関する掲示物による環境整備を通して、英語に慣れ親しむ環境づくりに努めることができました。</p>	<p>○外国語への慣れ親しみ、互いの考えや気持ちなどを伝え合うコミュニケーション能力の育成をねらった活動を充実させる指導を行います。</p> <p>○外国語活動・外国語科(小)・外国語科(中)の系統的指導計画の作成を推進していきます。</p>																																																											
		指標	3 (3)	<p>■ 全国学力実態調査における正答率が全国・県・北筑後の平均以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…全国、県、北筑後の3つとも平均以上→国語A、算数A</li> <li>・中学校…全国、県、北筑後のうち2つが平均以上→国語B、数学A、数学B</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>【小学校】</th> <th>国語 A</th> <th>国語 B</th> <th>算数 A</th> <th>算数 B</th> <th>【中学校】</th> <th>国語 A</th> <th>国語 B</th> <th>数学 A</th> <th>数学 B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>74.8</td> <td>57.5</td> <td>78.6</td> <td>45.9</td> <td>全国</td> <td>77.4</td> <td>72.2</td> <td>64.6</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>76</td> <td>58</td> <td>79</td> <td>46</td> <td>県</td> <td>77</td> <td>71</td> <td>63</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>北筑</td> <td>75</td> <td>57</td> <td>80</td> <td>44</td> <td>北筑</td> <td>76</td> <td>70</td> <td>62</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td><u>76</u></td> <td>57</td> <td><u>84</u></td> <td>44</td> <td>市</td> <td>76</td> <td><u>71</u></td> <td><u>64</u></td> <td><u>46</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 高い志を持ち、夢や希望を持って意欲的に学ぶ児童生徒が80%以上</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>【小学校】</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>【中学校】</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>84.0%</td> <td>86.6%</td> <td></td> <td>74.2%</td> <td>69.5%</td> </tr> </tbody> </table>	【小学校】	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	【中学校】	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	全国	74.8	57.5	78.6	45.9	全国	77.4	72.2	64.6	48.1	県	76	58	79	46	県	77	71	63	46	北筑	75	57	80	44	北筑	76	70	62	45	市	<u>76</u>	57	<u>84</u>	44	市	76	<u>71</u>	<u>64</u>	<u>46</u>	【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度		84.0%	86.6%	
【小学校】	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	【中学校】	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B																																																							
全国	74.8	57.5	78.6	45.9	全国	77.4	72.2	64.6	48.1																																																							
県	76	58	79	46	県	77	71	63	46																																																							
北筑	75	57	80	44	北筑	76	70	62	45																																																							
市	<u>76</u>	57	<u>84</u>	44	市	76	<u>71</u>	<u>64</u>	<u>46</u>																																																							
【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度																																																											
	84.0%	86.6%		74.2%	69.5%																																																											

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
I 学校 教育	〈2〉 豊かな心の育成	① 自他の良さを認め合い、互いによりよい生き方を切り拓こうとする心の教育の推進	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳性検査の調査結果の分析に基づいて豊かな心を育成するための学校経営方針が講じられました。 (道徳性の分析に基づいた学校経営方針の策定：100%)</li> <li>○ 豪雨災害における各学校の取り組みと課題を整理し命を守る取り組みについての確認を行いました。</li> <li>○ 小学校副読本「わたしたちの朝倉」を社会科、理科、総合的な学習の時間等で活用することで、朝倉市の歴史、地理、風土、文化、産業、暮らし等を知り、郷土に愛着や誇りを持った子供たちの育成を図ることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 価値ある体験活動を通して、基本的な生活習慣、忍耐力、人権感覚、自尊感情、規範意識、生命尊重、人間関係等の心の体験を充実させていきます。</li> <li>○ 学級の問題を解決し、よりよい学校生活を目指した児童・生徒による自治的な話合いの実施を推進します。</li> <li>○ 特別の教科道徳の基底カリキュラム作成を通して、各学校に指導内容と方法の提案を行い、特別の教科道徳による授業づくりの推進に努めます。</li> <li>○ 学校人権・同和教育研修会では、個別の人権課題に関わる内容を授業で取り上げ、内容を深めていけるよう指導助言に努めます。</li> </ul>
		② 人間関係調整力と強かく生き抜く力を育成する生徒指導の充実	3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不登校復帰支援事業について、適応指導教室と連携しながら計画的、実効的に取り組み不登校児童生徒数を減らす取り組みを進めてきました。(不登校児童生徒数 平成27年度：61人、平成28年度：46人、平成29年度：59人)</li> <li>○ いじめ・不登校問題については、教育委員会にスクールソーシャルワーカー（SSW：1名、830H/年）を配置し、関係機関やスクールカウンセラー（SC：8名、1460H/年）等と連携して実効性のある対策を講じました。</li> <li>○ SSWの役割と機能について学校への周知をさらに図り活用を促進しました。また、SSWを加えた「支援チーム」を中心として各学校への支援を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育相談コーディネーターを中心とした組織を機能化していくことで、いじめ問題、不登校解消のための体制づくりの充実に努めます。</li> <li>○ 今後も適応指導教室と連携しながら積極的に各学校の不登校の問題の解消に向けての支援を進めていきます。</li> <li>○ アンケートや教育相談など様々な機会を利用して、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応を徹底させていきます。</li> <li>○ 朝倉市いじめ防止基本方針の改訂を行い、実効性のある取り組みを進めていきます。</li> </ul>

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策																																																														
			評価点																																																																
I 学校 教育	〈2〉 豊かな心の育成	③郷土に愛着と誇りを持ち、その良さを自慢で生きる児童生徒を育む教育活動の創造	4 (4)	<p>○ 児童生徒の郷土愛を育むために、地域に縁のある百人一首を各学校の教育活動に取り入れ、市後援の五色百人一首大会へ多数の児童生徒を参加させることができました。また、参加人数も増えました。(平成27年度：73人、平成28年度：72人、平成29年度：112人)</p> <p>○ 創意ある体験活動委託事業や生きる力育成推進事業を通して豊かな心の育成が図れるよう支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【創】小：1学級あたり10,000円を委託</li> <li>・【生】小：1学級あたり7,000円 中：20,000円</li> </ul>	<p>○郷土の歴史や伝統文化にふれ、ふるさとの良さを味わったり、誇りを持ったりできる教育活動を推進します。</p> <p>○ふるさと教育の充実(活動内容を広げたり、深めたりする取り組み)と発信を推進していきます。</p> <p>○百人一首の活用の仕方について、さらに指導助言を行い、各学校での百人一首の活動をより充実させます。</p> <p>○各学校で様々に工夫しながら「生きる力」を育む体験活動が実施されていますので、今後も本事業を継続していきます。</p>																																																														
		指標	3 (3)	<p>■ 自尊感情を持ってしている児童生徒が75%以上、規範意識を持ってしている児童生徒が90%以上</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>【小学校】</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>【中学校】</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自尊感情</td> <td></td> <td>76.5%</td> <td>76.8%</td> <td></td> <td>67.6%</td> <td>67.3%</td> </tr> <tr> <td>規範意識</td> <td></td> <td>87.7%</td> <td>91.4%</td> <td></td> <td>95.6%</td> <td>94.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 不登校発生比率が全国、県、北筑後の平均以下、対人暴力等の不発生日数継続</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>【小学校】</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>【中学校】</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td></td> <td>0.39%</td> <td>0.42%</td> <td>0.47%</td> <td>調査中</td> <td>全国</td> <td>2.76%</td> <td>2.83%</td> <td>3.14%</td> <td>調査中</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td></td> <td>0.37%</td> <td>0.40%</td> <td>0.39%</td> <td>調査中</td> <td>県</td> <td>3.50%</td> <td>3.08%</td> <td>3.07%</td> <td>調査中</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td></td> <td>0.55%</td> <td>0.70%</td> <td>0.21%</td> <td>0.70%</td> <td>市</td> <td>4.56%</td> <td>2.80%</td> <td>2.84%</td> <td>2.80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年度に関しては、不登校発生比率が全国、県、北筑後の平均以下となりました。また、対人暴力等の不発生日は継続しています。</p>		【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度	自尊感情		76.5%	76.8%		67.6%	67.3%	規範意識		87.7%	91.4%		95.6%	94.7%		【小学校】	26年度	27年度	28年度	29年度	【中学校】	26年度	27年度	28年度	29年度	全国		0.39%	0.42%	0.47%	調査中	全国	2.76%	2.83%	3.14%	調査中	県		0.37%	0.40%	0.39%	調査中	県	3.50%	3.08%	3.07%	調査中	市		0.55%	0.70%	0.21%	0.70%	市	4.56%	2.80%
	【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度																																																													
自尊感情		76.5%	76.8%		67.6%	67.3%																																																													
規範意識		87.7%	91.4%		95.6%	94.7%																																																													
	【小学校】	26年度	27年度	28年度	29年度	【中学校】	26年度	27年度	28年度	29年度																																																									
全国		0.39%	0.42%	0.47%	調査中	全国	2.76%	2.83%	3.14%	調査中																																																									
県		0.37%	0.40%	0.39%	調査中	県	3.50%	3.08%	3.07%	調査中																																																									
市		0.55%	0.70%	0.21%	0.70%	市	4.56%	2.80%	2.84%	2.80%																																																									

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
I 学校教育	〈3〉 健やかな体の育成	①体力・運動能力の向上をねらった、体育科、保健・体育科における効果的な授業の工夫	5 (5)	○全国体力テストにおいて小学校は男女とも全国平均を超えました。中学校は、女子が全国平均を超えました。	○全国体力テストにおけるスコアが低かった項目のショート・トレーニングの実施や十分な運動量を確保した体育科の授業に努めます。  ○運動能力の向上を目的としながら、遊びの中で簡単に取り組めるような学校環境の整備に努めます。
		②運動部活動の奨励と日常的な運動の推進	5 (5)	○ 体育の授業前のショート・トレーニングの実施が定着しており、県が推進している「1校1取組運動」も、市が奨励する外遊びも主体的に取り組むようになってきました。 ・ショート・トレーニングの実施：小学校14/14校 ・1校1取組運動の実施：20/20校  ○中学校の部活動等においては、中体連主催大会の出場への補助をおこない、スポーツ環境の充実に努めました。(上位大会出場：県大会18競技)	○運動場や遊具の整備、運動目標の設定などを通して、外遊びを奨励し、運動・スポーツの習慣化を図っていきます。  ○学校や子どもの実態に応じ、持久力大会やなわとび大会など体力向上を図る取組を推進したり、運動部活動の取組みの充実を図ったりする指導を行っていきます。  ○積極的生徒指導による生活、部活動指導に関する研修会を開催します。

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策																																																																																	
			評価点																																																																																			
I 学校教育	〈3〉 健やかな体の育成	③健康教育の強化を図った安全教育、保健教育の充実と食育の推進	4 (5)	<p>○平成29年九州北部豪雨後に研修会をもち、緊急時の登下校、保護者への引き渡し等の対応についての確認を行いました。</p> <p>○「弁当の日」の取組を年2回以上行い、食育の推進に努めました。(20/20校で実施)</p> <p>○栄養士を派遣して食に関する指導の在り方について指導助言を行い、食育の推進を継続して行うことができました。</p> <p>○児童生徒の朝食摂取は、小学校が91.0%、中学校が90.3%で指標の95%を超えることができました。</p>	<p>○事故や災害に強い学校を目指し、安全・防災計画及び災害避難訓練等災害対策のあり方について、外部講師の活用などを図るよう指導助言を行います。</p> <p>○栄養士が市内の全校で地場産食材に対する理解など質の高い食に関する指導が維持できるよう研修に努めます。</p> <p>○朝食摂取と学習状況との関連性についての情報提供を家庭へ行うよう指導します。</p> <p>○児童生徒の心身の発達段階や実態に応じた計画的、組織的な保健(性や心の問題、薬物乱用防止等)に関する指導の充実に努めていきます。</p>																																																																																	
		指標	4 (5)	<p>■ 全国体力・運動能力テストの体力合計点が全国・県・北筑後の平均以上</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">28年度</th> <th colspan="6">29年度</th> </tr> <tr> <th>【小学校】</th> <th>小5男</th> <th>小5女</th> <th>【中学校】</th> <th>中2男</th> <th>中2女</th> <th>【小学校】</th> <th>小5男</th> <th>小5女</th> <th>【中学校】</th> <th>中2男</th> <th>中2女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>全国</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>全国</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>全国</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>50.9</td> <td>50.0</td> <td>県</td> <td>50.5</td> <td>49.5</td> <td>県</td> <td>51.4</td> <td>52.6</td> <td>県</td> <td>51.4</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>北筑市</td> <td>48.8</td> <td>50.3</td> <td>北筑市</td> <td>49.4</td> <td>49.8</td> <td>北筑市</td> <td>51.3</td> <td>50.7</td> <td>北筑市</td> <td>50.2</td> <td>50.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>54.4</td> <td>53.1</td> <td></td> <td>51.7</td> <td>51.4</td> <td></td> <td>54.3</td> <td>52.6</td> <td></td> <td>48.6</td> <td>53.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 児童生徒の朝食摂取が95%以上</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>【小学校】</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>【中学校】</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>91.9%</td> <td>91.0%</td> <td></td> <td>90.3%</td> <td>90.3%</td> </tr> </tbody> </table>	28年度						29年度						【小学校】	小5男	小5女	【中学校】	中2男	中2女	【小学校】	小5男	小5女	【中学校】	中2男	中2女	全国	50.0	50.0	県	50.9	50.0	県	50.5	49.5	県	51.4	52.6	県	51.4	50.0	北筑市	48.8	50.3	北筑市	49.4	49.8	北筑市	51.3	50.7	北筑市	50.2	50.3		54.4	53.1		51.7	51.4		54.3	52.6		48.6	53.1	【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度		91.9%	91.0%										
28年度						29年度																																																																																
【小学校】	小5男	小5女	【中学校】	中2男	中2女	【小学校】	小5男	小5女	【中学校】	中2男	中2女																																																																											
全国	50.0	50.0	全国	50.0	50.0	全国	50.0	50.0	全国	50.0	50.0																																																																											
県	50.9	50.0	県	50.5	49.5	県	51.4	52.6	県	51.4	50.0																																																																											
北筑市	48.8	50.3	北筑市	49.4	49.8	北筑市	51.3	50.7	北筑市	50.2	50.3																																																																											
	54.4	53.1		51.7	51.4		54.3	52.6		48.6	53.1																																																																											
【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度																																																																																	
	91.9%	91.0%		90.3%	90.3%																																																																																	

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
I 学 校 教 育	〈4〉 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り	①コミュニティ・スクールの制度を生かした効果的な学校づくりの推進	4 (4)	○ 「コミュニティ・スクール」でいう学校運営協議会の機能を持った「おらが学校委員会」を各学校で設置し、学力、体力、徳力に関する調査結果の情報提供を行いました。（おらが学校委員会等における学力調査結果等の公表：20/20校）	○おらが学校委員会における学力、体力、徳力に関する情報提供を推進します。 ○地域のもの、ひと、ことを活用した体験活動を充実し、保護者との連携を強化しながら地域の教育力の十分な活用を図ります。 ○児童生徒に対して、地域で行われている行事に込められた意味や思いの理解を図るとともに積極的な参加を推進します。
		②積極的な情報発信による保護者・地域が自慢できる学校づくりの推進	5 (4)	○ 地域の教育資源を教材化し、総合的な学習の時間や学校行事等の教育活動の中で地域の特色を学ぶ機会が定着してきました。小学校副読本「わたしたちの朝倉」の活用も充実してきました。 ○ 市のホームページ掲載や学校便りの発行を通して、学校教育目標や学校の特色、学校情報等を公開できました。（学校だよりの発行：100%）	○学校教育充実のために、保護者や地域が参画する学校運営システムの構築に努めます。 ○学校で行われている教育活動の様子を学校便り等の手段を使って情報として発信する指導を行い、保護者・地域に自慢できる学校づくりのための指導を行います。

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策																					
			評価点																							
I 学校 教育	〈4〉 信頼される学校づくり	③教職員の服務厳正を図った取組と、学校情報の積極的な公開の徹底	3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定例化した朝倉市不祥事防止対策委員会を年間12回行いました。服務の厳正に関わるテーマで行われた協議の内容は、定例校長会等を通じて全校長に確認していきました。</li> <li>○ 不祥事防止のための「チェックリスト」や「唱和訓」の活用を通して、不祥事防止に向けた意識高揚を図ってきましたが、結果として不十分な事案が発生しました。(コンプライアンス研修の実施：20/20校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の服務の厳正を図り、三大不祥事撲滅に努め、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進します。</li> <li>○学校評価を有効に活用し、家庭や地域に対する情報発信に努め、説明責任を果たすとともに、開かれた学校づくりを目指していきます。</li> <li>○教育施策の重点項目に対する評価を毎学期行うとともに、校長ヒアリングにおいても進捗状況を確認し、改善に生かすよう徹底を図ります。</li> </ul>																					
		指標	4 (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童生徒の地域行事等への参加60%以上</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>【小学校】</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>【中学校】</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>77.6%</td> <td>81.4%</td> <td></td> <td>49.4%</td> <td>44.1%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 飲酒運転、セクシャルハラスメント、体罰の発生率0%</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>【小学校】</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>【中学校】</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度		77.6%	81.4%		49.4%	44.1%	【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度		0.0%	0.0%	
【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度																					
	77.6%	81.4%		49.4%	44.1%																					
【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度																					
	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%																					

部門	基本 目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
I 学校 教育	〈5〉 教育環境の充実	①教職員の実践的指導力の向上と児童生徒の学習習慣の定着の推進	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝倉市教育支援センターにおいて、経験年数や職務等に応じた研修を実施し、教職員の実践的指導力の向上に努めました。</li> <li>○ 小中学校の常勤講師等に対して、教師力の向上、そして教育公務員としての自覚と、厳正なサービスの遂行のための研修会を年間2回開催しました。(2回延べ33名)</li> <li>○ 中学校区を単位とした小中連携部会の機能化がさらに図られ、キャリア教育や人権・同和教育、生徒指導の内容の充実など、校区毎の取組が充実してきました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のきまり」「学習の手引」作成(全校区)</li> <li>・「スマホ等に係る家庭教育宣言」作成(全校区)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝倉市教育支援センターと連携し、経験年数や職務に応じた研修を行い、実践的指導力の向上を図っていきます。</li> <li>○コンプライアンスの視点及び授業づくりも含め研修会の内容を更に工夫し、今後も講師等の資質向上に努めます。</li> <li>○家庭学習の中身や学習状況調査の結果がわかる通信の発行を推進し、学習習慣の定着を図ります。</li> </ul>
		②小・中一貫教育を推進する中学校区組織機能の充実	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝倉市学力向上推進事業において、中学校区を単位とした小中連携部会を組織し、家庭学習の手引きなど効果のある取組を広げました。</li> <li>○ 新設小学校や小中一貫校の建設に向けた準備委員会の運営等に対して支援ができました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・杷木地域新設小学校建設準備委員会：8回開催</li> <li>・秋月中学校区小中一貫校建設協議会：4回開催</li> </ul> </li> <li>○計画的に校舎や屋内運動場等の改修整備を行いました。(秋月小学校大規模工事、新設杷木小学校建設工事)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各中学校区における小中連携組織を構築するとともに、同校種連携や異校種連携を積極的に行い、小中一貫教育を推進します。</li> <li>○地域の方々と学校の在り方の検討を今後も進めていきます。</li> <li>○特に生徒指導面での連携は、組織づくりのさらなる工夫が必要だと考えており、そのための指導助言、環境整備に努めます。</li> </ul>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策										
			評価点												
I 学校教育	〈5〉 教育環境の充実	③よりよい学びを生む教育環境の整備・充実と小・中学校の在り方検討の推進	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子ども110番の家」のポスターについては、必要数を学校に随時配布することができました。</li> <li>○ 計画的に校舎や屋内運動場等の改修・整備を行いました。(校舎防水工事(秋月小)、空調設備設置工事(甘木中・南陵中・十文字中・比良松中・杷木中))</li> <li>○ 昭和56年以前建築の校舎や体育館(40棟)について、文部科学省指針に沿って作成した教育委員会の事業計画どおり、耐震化を完了しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子ども110番の家」の役割を地域に広めて行くとともに、防犯時だけでなく、下校時の大雨等の災害対応にも活用できるよう各学校に指導助言を行います。</li> <li>○ 大雨、土砂災害の避難勧告、避難指示発令時における学校の対応についての指導を行います。</li> <li>○ 今後も関係機関との連携を図り、多方面からの情報等を集めながら、児童生徒の安全・安心・安定を確保できるよう努めます。</li> <li>○ 児童生徒の登下校の状況把握や通学路の点検、児童生徒の安全確保のための危機管理体制に努め、保護者、地域と連携した防犯体制を整えていきます。</li> </ul>										
		指標	4 (-)	<p>■ 中学校区連携事業への教職員参加100%</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>【小学校】</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>【中学校】</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>■ 月初めの安全点検の日の設定と点検、学期1回の通学路・集団登校点検、破損施設の即修理</p> <p>月初めの安全点検の日の設定と点検、学期1回の通学路・集団登校点検、破損施設の即修理が全校で実施されました。</p>	【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度		100%	100%		100%
【小学校】	28年度	29年度	【中学校】	28年度	29年度										
	100%	100%		100%	100%										

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
Ⅱ 生涯学習 ・生涯スポーツ振興	＜1＞ 生涯学習の推進	① 生涯学習推進体制の整備・充実	4 (4)	<p>○地域コミュニティの事務局長を対象とした研修を1回、同事務局員を対象とした実務研修を2回計画していましたが、九州北部豪雨災害で中止しました。</p> <p>○地域活動指導員及び社会教育指導員が、地域コミュニティや地域に出向き、生涯学習の企画提案や様々な体験活動の実践を行いました。</p>	<p>○ふるさと課との連携をさらに強化し、生涯学習の推進を図ります。</p> <p>○地域活動指導員、社会教育指導員を積極的に地域に派遣し、生涯学習の構築を図ります。</p>
		② 生涯学習支援機能の充実	4 (4)	<p>○朝倉市生涯学習指導者登録制度による指導者の情報提供及びお茶の間学習ネットワーク事業に伴う自主学習団体等の情報提供を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者登録者数：181名</li> <li>・自主学習団体数：197団体</li> </ul> <p>○市内中学校区での地域活性化と、学校・地域での連携・融合を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6中学校区</li> </ul> <p>○生涯学習講演会 九州北部豪雨災害により中止</p> <p>○子どもの明日を考える講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師 太刀山 美樹氏 ((株)MIKIファニット 代表取締役)</li> <li>・参加者 140名</li> </ul>	<p>○生涯学習指導者の発掘を行うとともに、自主学習団体の情報提供を積極的に行い、支援機能の充実を図ります。</p> <p>○中学校区毎に組織されている、学社連携・融合推進協議会に対し、活動支援を行います。</p> <p>○市民の自己意識の向上を図り、生涯学習事業を推進するため、市民対象の各種講座を開催します。</p>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
II 生涯学習 ・生涯スポーツ振興	<2> スポーツ・レクリエーション活動の推進	①スポーツ施設など活動環境の充実	5 (5)	<p>○社会体育施設の整備充実について、既存施設は年次的、且つ地域の施設バランスを配慮しながら対応していきたいと考えていますが、緊急度や危険度、災害状況(被災度合)、従来からの懸案事項など、優先順位に則って実施しました。</p> <p>①朝倉体育センター防犯カメラ設置工事 ②杷木球場周辺道路及び側溝復旧工事 ③安川体育センター管理棟屋根修繕工事 ④甘木B&amp;G海洋センタープール循環ポンプ整備修理工事他</p> <p>○指定管理者制度を導入し体育施設の管理運営を行っており、サービス向上と業務の効率化を図っています。</p> <p>指定管理者 朝倉地域体育施設：(株)クリーン商会 甘木B&amp;G海洋センター：(有)ヴァスカ</p>	<p>○今後も、各施設の整備の取り組みについては、バランスを保ちながら計画的に順次実施していきます。</p> <p>○その他の体育施設については、総合的な体育施設の建設計画の動向を見ながら、現有施設の統廃合を含め計画的な管理運営の検討を行います。</p>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
生涯学習 ・生涯スポーツ振興	〈2〉 スポーツ・レクリエーション活動の推進	②健康増進・市民相互交流の促進	5 (4)	<p>○インディアカ、カローリング等、多世代で気軽に楽しめるレクリエーションの普及や体力テスト実施による健康度チェックを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間9回開催</li> <li>・参加者：321名</li> </ul> <p>○各種スポーツ大会</p>	○ニュースポーツを積極的に取り入れ、あらゆる世代が楽しめるスポーツ・レクリエーションの普及を行い、市民の健康増進に努めます。
		③活動組織・団体の育成	4 (4)	<p>○市体育協会加盟団体(各種競技団体)、スポーツ少年団、スポーツ推進委員の活動については、年内事業計画に基づく事業支援を行い育成に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝倉市体育協会 加盟団体 20団体</li> <li>・朝倉市スポーツ推進委員 25人(各地区コミュニティ選出)</li> <li>・朝倉市スポーツ少年団 49単位団 指導者 291人 団員 815人</li> </ul>	○市体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員に対し、指導者育成講演会やセミナー等の機会提供を行い、指導者等の資質向上や育成を図ります。

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
II 生涯学習 ・生涯スポーツ振興	<3> 図書館サービスの充実	① 図書館の管理運営	5 (5)	<p>① 図書館の利便性向上と危機管理への取り組み</p> <p>○九州北部豪雨災害の影響により、はき図書館を一時的に閉館しましたが、年末年始を除いて、中央館・はき館とあさくら館の休館日が重ならないように開館したため、利用者の利便性が向上しました。</p> <p>※はき図書館閉館期間 7月6日～18日</p> <p>○祝日開館の実施により、開館日数の増加に努めました。</p> <p>② 図書館システムの整備・活用</p> <p>○図書館システムの整備を行い、利用者への資料提供等図書館業の円滑な運営を図りました。</p> <p>○ホームページやSNS (social networking service) を活用した図書館情報提供サービスに努めました。</p> <p>③ レファレンスやリクエストサービスの充実</p> <p>○レファレンス (調査支援、学習支援) やリクエスト (予約) サービスの充実を図りました。</p> <p>・年間レファレンス (相談) 件数 4,086 件 ・年間資料の問い合わせ・読書案内件数 5,544 件</p>	<p>○中央館・あさくら館・はき館の休館日が重ならないようにして開館し、利用者の利便性の向上に努めます。</p> <p>○祝日開館を遂行することにより、開館日数、図書館利用者の増加に努めます。</p> <p>○図書館システムの整備に努め、利用者への資料提供等図書館業務の円滑な運営を図ります。</p> <p>○レファレンスサービス及び読書案内の増加に努めます。</p>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
II 生涯学習 ・生涯スポーツ 振興	〈3〉 図書利用サービスの充実	② 図書資料の整備	4 (4)	<p>① 図書館資料の収集・蔵書管理・利用促進</p> <p>○ 図書資料や視聴覚資料等の収集と利用促進を図りました。 (年間受入冊数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書資料受入数 17,042冊</li> <li>・ AV資料受入数 298冊</li> <li>・ 雑誌受入タイトル数 (中央129 あさくら63 はき32)</li> <li>・ 新聞受入タイトル数 (中央9 あさくら7 はき5)</li> </ul> <p>○ 雑誌スポンサー制度により、雑誌寄贈を受けました。 11社 17タイトル 述べ263冊</p> <p>② 貴重資料、地域資料の収集と保存整備</p> <p>○ 地域資料の収集・整備に努めました。</p> <p>○ 損耗が著しい郷土資料のデジタル化や製本を行いました。</p> <p>③ 地域の課題や多様な利用者に対応した資料の収集・整備</p> <p>○ ビジネス支援コーナー、健康情報コーナー、行政情報コーナーを設置し、資料の収集、提供サービスに努めました。</p>	<p>○ 地域のニーズや課題に対応した資料の収集に努めます。</p> <p>○ 障がい者や高齢者、外国人など、多様な利用者に対応した資料の収集、提供サービスに努めます。</p> <p>○ 貸出冊数の増加に努めます。</p>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
II 生涯学習 ・生涯スポーツ振興	＜3＞ 図書利用サービスの充実			<p>④ 図書館間ネットワークの整備</p> <p>○県内図書館間の相互貸借、相互利用、情報の共有化により、資料提供サービスの充実を図りました。</p> <p>・年間貸出冊数 987冊 ・年間借受冊数 632冊</p>	
		③読書環境の整備	5 (5)	<p>① 移動図書館事業の推進</p> <p>○子供たちが身近に本と触れ合うことができるように、移動図書館「おひさま号」にて、市内の保育園（所）・幼稚園を巡回し、図書の貸出を行いました。</p> <p>・巡回箇所数 22箇所 ・年間貸出冊数 36,806冊</p> <p>② 巡回文庫事業の推進</p> <p>○身近に本と親しんでもらうために、定期的にコミュニティ施設や高齢者施設を巡回し、図書の団体貸出を行いました。</p> <p>○市内の小・中学校へ定期的に巡回し、図書の団体貸出を行うことにより、学校教育への協力と支援を行いました。</p> <p>・巡回箇所数 32箇所 ・年間貸出冊数 14,155冊</p>	<p>○移動図書館事業や巡回文庫事業の充実を図り、身近に本と触れ合うための環境づくりに努めます。</p> <p>○移動図書館事業や巡回文庫事業による貸出冊数の増加に努めます。</p>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
II 生涯学習 ・生涯スポーツ振興	＜4＞ 読書活動の推進	① 読書推進事業の充実	4	<p>① 各種講座等図書館事業の充実</p> <p>○歴史・文学講座・子供の読書講座・上映会・おはなし会等を開催し、読書活動の普及啓発事業の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会・児童向講座等 年間開催回数 237回 年間延べ参加者数 2,941名</li> <li>・成人向講座・上映会等 年間開催回数 49回 年間延べ参加者数 1,138名</li> </ul>	<p>○各種講座・おはなし会等の年間参加者数の増加に努めます。</p> <p>○関係機関・団体との連携を深め、各種講座等事業の充実を図ります。</p> <p>○「朝倉市子どもの読書活動推進計画（改訂版）」に基づき、子どもの読書活動を推進する環境整備に努めます。</p>
				<p>(5) ② 関係機関・団体との連携と活動の支援</p> <p>○九州北部豪雨災害により、講座を一部中止しましたが、行政機関や地域・学校・読書ボランティア団体等の関係機関との連携を図り、読書環境づくりを推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書団体との交流会・講座への支援 ゆめ基金事業講演会 年1回開催 参加人数 160名 読書団体との交流会・代表者会 年3回</li> </ul> <p>○学生に生涯学習の場を提供するとともに、図書館を身近に感じてもらうために、高校生・大学生を対象としたボランティアの受け入れを行いました。 参加者 述べ3名</p>	

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
II 生涯学習 ・生涯スポーツ 振興	〈4〉 読書活動の推進			<p>③ 「朝倉市子どもの読書活動推進計画（改訂版）」の推進</p> <p>○「朝倉市子どもの読書活動推進計画（改訂版）」に基づき、子どもの読書活動を推進する環境整備に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動推進協議会 年1回開催</li> </ul> <p>○福岡県子どもの読書活動充実事業補助事業により、「朝倉市子ども読書の日」及び「家族ふれあい読書」の啓発のためのポスター・チラシ等を作製し、市内の幼稚園・保育園（所）、コミュニティ事務局、学校等へ配布しました。</p>	<p>○「朝倉市子どもの読書の日」及び「家族ふれあい読書」の普及・啓発に努めます。</p>
		②ブックスタート事業の整備・推進	5 (5)	<p>① ブックスタートボランティアの育成</p> <p>○ブックスタート事業を推進するためのボランティアの育成とスキルアップに努めました。</p> <p>② ブックスタート事業の推進</p> <p>○絵本を通して親子の触れ合いを深めるために、ブックスタート事業を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4ヶ月健診時 年18回開催 参加人数 335名</li> <li>・1歳6ヶ月健診時 年18回開催 参加人数 363名</li> </ul>	<p>○絵本を通して親子の触れ合いを深めるために、ブックスタート事業を推進します。</p> <p>○ブックスタート・ブックスタートフォローアップへの全員参加をめざします。</p>

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
Ⅲ 文化振興	＜1＞ 地域文化の振興	① 指定文化財の整備活用及び埋蔵文化財調査	4 (4)	<p>① 指定文化財等保存管理</p> <p>○国指定文化財2件、県指定文化財7件、市指定文化財5件の草刈など、直接管理を行いました。</p> <p>○県指定天然記念物2件について、保護増殖事業を実施しました。国指定文化財2件、県指定文化財2件の維持管理について補助を実施しました。</p> <p>○7月の九州北部豪雨災害により被災した、国指定天然記念物「久喜宮のキンメイチク」について、国・県の補助を受けて再生事業に取り組みました。</p> <p>また、同様に被災した国指定重要文化財「普門院本堂」の災害復旧事業に国・県と共に補助事業を実施しました。</p>	○市内の各種文化財の「保存・整備・管理計画」を作成し、計画的に保存整備育成を実施します。
			3 (4)	<p>② 歴史・文化普及啓発</p> <p>○出前講座（地域史学習・史跡探訪）を14回（のべ参加者520人）、旧田代家住宅の公開を1回（のべ参加者58人）、古文書講座を行いました。</p>	○公民館・学校・各種団体等の注文に応じての出前講座についても、地元の地域史をより身近に感じてもらうような工夫をおこないます。

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
Ⅲ 文化振興	＜1＞ 地域文化の振興		5	<p>③ 埋蔵文化財調査</p> <p>○139件の事前審査を受け付け、76件の試掘調査を実施、7件を新たな包蔵地として確認しました。93条の届出は41件、94条の通知は6件受理しています。</p> <p>(5) ○中町団地発掘調査、三奈木大佛山遺跡の発掘調査を行い、三奈木走下遺跡・秋月城下町遺跡10次調査の整理作業を行いました。</p>	○民間開発に伴う緊急調査、公共事業に伴う緊急発掘調査、重要遺跡の確認調査など、より効率的な調整をおこない、精度の高い調査を目指します。
			4 (-)	<p>④秋月地区の歴史的風致保存</p> <p>○24回のまちなみ相談を秋月コミュニティーセンターで実施し、27件の現状変更を受け付けました。また、2件の間接補助事業を実施しました。</p>	○秋月地区の歴史的風致を保存活用するため、現状変更事務等を適切に実施し、文化的景観の維持を図ります。

部門	基本目標	項目	評価の理由		今後の改善策
			評価点		
Ⅲ 文化振興	＜1＞ 地域文化の振興	②文化財の活用及び施設の管理運営	5	<p>① 平塚川添遺跡公園管理活用</p> <p>○園内樹林の下枝整枝、園内の草刈管理など、来園者が安全に利用出来るように、園内の環境整備を実施しました。また、国の補助を受けて復元建物の整備に係る設計を行いました。</p> <p>○市内小学校4年生を対象に「古代体験あさくら子どもの日」、夏・冬休み体験教室、夏休み自由研究作品展等を実施しました。</p> <p>(4) ○サギッチョ・冬鳥観察会・野草採取等の季節体験事業を実施し、一般来園者・各種団体の体験学習を受け入れました。</p> <p>年間入園者数 20,843人 (市内11,983人、県内8,480人、県外380人)</p>	<p>○古代建物など整備した復元施設の老朽化が進行しているため、国庫補助事業による本格的な修理を実施しつつ、当面の修復・保全事業を計画的に進めます。</p> <p>○施設の特徴を生かした多種多様な主催行事を実施していますが、各種団体による自主的な体験活動、日常的な市民の利用などを促していきます。</p>
			4	<p>② 歴史資料館管理活用</p> <p>○施設管理（清掃・草刈・庭園樹木の剪定・施設修繕等）を行いました。</p> <p>○常設展示を行うほか、企画展「朝倉の遺跡ロード～筑後川北岸の古代遺跡」などを実施しました。</p> <p>(4) ○歴史資料の寄託・寄贈の受け入れ、博物館等への調査協力・貸出を行いました。</p> <p>○災害発生後、文化財レスキュー事業を行い、未指定文化財の保全に取り組みました。</p> <p>年間入館者数 6,896人 (市内4,146人、県内2,207人、県外543人)</p>	<p>○施設の老朽化が進行しており、必要最低限の更新を図るほか、県に対して抜本的な改善を求めています。</p> <p>○常設展示の充実、わかり易い解説の工夫、レファレンス機能、調査・研究活動の充実を図ります。また、市民による自主展示の更なる促進、魅力ある特別企画展等の実施を図ります。</p>

Ⅲ 文化振興	＜1＞ 地域文化の振興		<p>③ 秋月郷土館管理活用</p> <p>4 (4) ○5月31日の閉館日まで、秋月郷土館の開館及び施設管理、学芸業務等を行いました。 入館者数（5月末まで1,258人）</p>	
		<p>④朝倉市秋月博物館建設</p> <p>4 (4) ○国の交付金事業（50%）「街なみ環境整備事業」の第2年次事業として、「杉の馬場」に面した土塀、博物館正門アプローチ（石段・車椅子用通路）の整備を行いました。 ○併せて、収蔵庫搬入口周辺の開閉扉、舗装工事、および雨水排水口修景、博物館北側（杉垣・石積）・東側（板塀）の境界外構工事、杉の馬場から野鳥川への排水工事等を市の単独工事として実施しました。</p>	<p>○平成27年に策定した「整備計画基本方針」に拠って、平成32年度までの計画を実施しています。</p> <p>○国からの交付金は現在までは計画どおりに交付されていますが、31年度、32年度は複数の工事が計画されているため、県住宅計画課・市都市計画課との協議・調整を更に行っていく必要があります。</p>	

<p>Ⅲ 文化振興</p>	<p>&lt;1&gt; 地域文化の振興</p>		<p>⑤ 朝倉市秋月博物館管理活用</p> <p>○10月21日の開館に向けて諸準備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵品管理（梱包・燻蒸・輸送・展示）</li> <li>・展示品準備（レプリカ製作・修復業務）</li> <li>・環境管理（館内枯らし・掃除・展示環境改善）</li> <li>・施設管理（空調・電気設備・夜間警備・清掃・エレベーター・自動ドア・防犯カメラ設置）</li> <li>・開館告知（TV・新聞・雑誌・広報誌・ポスター・チラシ・幟等）</li> <li>・事務所移転（備品購入・書類梱包・引っ越し）</li> <li>・販売物準備（図録・各グッズ）</li> </ul> <p>○平成30年1月は「新春特別公開」、平成30年3月は「災害の記憶展」を開催しました。</p> <p>平成29年度入館者数 13,987人 (平成29年10月21日～平成30年3月31日)</p>	<p>○収蔵資料の適切な管理・修復等を行い、黒田家資料、土岐コレクション等の重要な文化財を後世まで保存していきます。</p> <p>○収蔵資料の調査・研究を行い、特別企画展等で市民へ公開していきます。</p> <p>○博物館HPなどの情報発信ツールを積極的に活用し、常に新しく魅力ある情報を発信していきます。</p> <p>○老朽化が著しい旧郷土館施設（旧戸波家住宅・庭園・蔵・長屋門）の維持管理を継続して行い、一般公開まで保全に努めます。</p>
---------------	------------------------------	--	---	--

III 文化振興	<2> 文化芸術活動の推進	① 文化振興推進事業	① 美術展・文化趣味講座・文化講演会・コンサート等開催事業 ○朝倉市美術展での作品展示や平塚川添遺跡公園でのオータムコンサートの開催など、市民が楽しみながら文化芸術に触れる機会を提供し、文化振興に寄与することを目標に事業を計画していましたが、九州北部豪雨災害により多くの事業を中止しました。また、文化講演会については事業見直しにより自主文化事業協会と連携して開催することとしており、自主文化事業で実施しました。 ○第61回朝倉市美術展 九州北部豪雨災害により中止 2 (4) ○文化趣味講座 講座：「スマホでプロ写真講座」ほか5講座を開催 参加者：93名 ○古典文学講座「ゆっくり学ぶ万葉集」 8月～2月まで全11回講座 参加者：65名 ○オータムコンサート 九州北部豪雨災害により中止 ○ダンスワークショップ 九州北部豪雨災害により中止	○市民が優れた文化芸術に広く親しむことができるよう、関係機関と連携し内容の充実と来場者の満足度の向上に努めます。また、市民への周知を図るため広報紙掲載やイベントによってはマスコミ等に情報発信を行います。なお、事業実施にあたっては、九州北部豪雨災害被災者の支援につながるよう配慮しながら行っていきます。
----------	---------------	------------	---	--

Ⅲ 文化振興	〈2〉 文化芸術活動の推進	3 (3)	<p>② 活動組織、団体の育成</p> <p>○文化団体連合会等各種団体へ補助金の交付及び文化の普及活動について指導・育成をおこないました。市文化団体連合会(甘木、朝倉、杷木)については、歴史や目的に違いがあり、連合会の活動内容統一には至っていません。</p>	<p>○市文化団体連合会(甘木、朝倉、杷木)の完全な統合・一本化は地域文化の衰退をまねくとの意見もあり難しい状況ですが、活動に対する指導・助言等は継続的に行っています。</p>
		3 (4)	<p>③ 子どもの文化、芸術活動の促進</p> <p>○甘木連合文化会と市の共催による小中学生伝統芸能体験講座や夏休みを利用した七夕揮毫・展示会など伝統文化や歴史を学ぶ事業を開催しました。なお、国際子ども芸術フェスティバル、甘木盆俄保存公演については豪雨災害により中止となりましたが、甘木盆俄については、出演を予定していた小学生が練習の成果発表ができるように支援を行いました。</p> <p>○甘木連合文化会の指導による小中学生伝統芸能体験講座 講座：謡曲仕舞、日踊、三味線、生け花、尺八 期間：8月～3月までの間、15回 参加者：25名</p> <p>○七夕揮毫会(7月22日) 参加者：小学1年生18名</p> <p>○第17回朝倉市国際子ども芸術フェスティバル九州北部豪雨災害により中止</p>	<p>○子どもの文化芸術体験活動を推進していくため、文化団体などと連携し、子どもが直接文化に触れる機会を提供することで、文化芸術への興味と理解を深めることができるよう推進します。朝倉市国際子ども芸術フェスティバルについては、地元の意向に配慮しながら検討していきます。</p>

Ⅲ 文化振興	〈2〉 文化芸術活動の推進		3 (4)	<p>④ 文化ホール等の有効活用</p> <p>○文化芸術向上に資するため自主文化事業協会と連携し、ピーポート甘木大・中ホール、朝倉・杷木文化ホールにおいて、市民に上質な芸術作品を手軽な料金で鑑賞する機会を提供することで、所期の目標に近づくことができました。九州北部豪雨災害により計画していた2事業について中止しましたが、映画「古都」、「プレジャーBのコメディ・クラウン・サーカス」、「ストリングラフィ・アンサンブルコンサート」、「鎌田實講演会（ゲスト：さだまさし）」を開催しました。なお、鎌田實講演会については中止の検討をしていましたが、両名の好意によりボランティアにより実施しました。 来場者数：1,862名</p>	<p>○広く市民が優れた舞台芸術等を鑑賞出来るよう、自主文化事業協会などと連携し、気軽に「上質な芸術文化」に触れる機会を提供するとともに内容の充実を図っていきます。また、市民への周知を図るため市広報紙への掲載やツイッター等SNSを用いた広報を行います。なお、事業実施にあたっては、九州北部豪雨災害被災者の支援につながるよう配慮しながら行っていきます。</p>
			3 (4)	<p>⑤ 姉妹都市交流</p> <p>○5年に1度の大交流の年から4年目の年であり高鍋町で文化芸術小交流を行いました。美術作品交流については、九州北部豪雨災害のため中止となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術交流 期間：11月2日～3日</li> <li>・美術作品交流 九州北部豪雨災害のため中止</li> </ul>	<p>○文化芸術交流は、大交流1回・小交流2回の5年周期の文化交流と、写真、書道、絵画及び彫刻などの美術作品交流を行っており、姉妹都市の絆を更に深めていくため、「農業まつり」との連携など内容の充実を図っていきます。なお、平成30年度は朝倉市での大交流となっています。</p>

Ⅲ 文化振興	〈2〉 文化芸術活動の推進	② 総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センターの維持管理運営	4 (4)	<p>① 総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センター施設の維持管理</p> <p>○ 朝倉市総合市民センター、杷木文化ホール及び朝倉文化ホールの維持・管理を行い、利用者が安全かつ快適に使用できるよう努めました。 (施設の清掃、エレベーターなどの保守点検、舞台音響・照明設備の保守及び専門技術の提供並びに夜間・休日の保安や警備)</p>	○ 市民センター大・中ホール、杷木・朝倉文化ホール施設は、既に開館から20年～40年が経過し、老朽化が進んでいますので、各施設改修の年次計画を策定しながら、適切かつ安全な環境整備の確保を図っていきます。
			4 (4)	<p>② 総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センター施設の維持補修</p> <p>○ 総合市民センターなどの施設維持補修を行い、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合市民センター：中央監視装置更新工事、大ホール屋根防水改修工事</li> <li>・ 朝倉地域生涯学習センター：館長室・応接室エアコン取替工事、音調・映写・調光・機械室エアコン取替工事</li> <li>・ その他修繕工事 全55件</li> </ul>	○ 公共施設として、利用者の安全と利便性を最優先に施設の維持補修を継続して行っていきます。また、九州北部豪雨災害以降、避難所として利用される頻度も増えていることから、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインを基本とした施設・設備の改修に取り組んでいきます。